



## チェロが奏でる至福のひととき

### 第9回みんなでできよう♪コンサート

「第9回みんなでできよう♪コンサート」を1月18日、図書館ホールで開催しました。このコンサートは(一財)地域創造の助成を受けて、菊陽町図書館ホールの自主文化事業として実施。コンサートには、チェロ奏者の加藤文枝さんとピアノ伴奏の入川舜さんが出演し、優雅な音色で来場した350人の観客を魅了しました。参加者は「チェロもピアノも素晴らしかった。それぞれ曲の説明をいただいたので、曲の情景が目に浮かぶようだった」と笑顔で話しました。



心地良い優雅な音色がホール中に響き渡りました

## 認知症になっても安心して暮らせるまちへ

### 認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、地域でできる支援や声かけの方法などについて学ぶ「認知症サポーター養成講座」を11月28日と1月31日に武蔵ヶ丘中学校・菊陽中学校の1年生を対象に実施。講話や寸劇を交えた講座を通し、認知症の症状や、声かけのポイントなどが講義されました。参加した生徒は「優しい言葉かけの大切さが分かった」と感想を話しました。町では企業・団体・学校向けに当講座を行っています。講座を希望する人は介護保険課にお問い合わせください。



熱心に講話に耳を傾ける生徒たち

## 令和2年度のごみ収集カレンダーを配布

祝日などでごみ出し日の変更となる日は、ごみ収集カレンダーで確認してください。カレンダーは、町のホームページ「ごみ出しカレンダー」にも掲載しています。「ごみの分け方・出し方」の冊子などが必要な場合は、役場関係施設で受け取ることができます。



折り曲げてお使いください

町のルール、地域のルールを再確認し、正しくごみを出しましょう。  
■当日の朝8時30分までに出しましょう  
朝8時30分から収集を行います。当日の天候や交通状況などで収集時間が変わることがあります。1日に何度も同じゴミステーションを回することはありませので、必ず時間を守ってください。  
■決められたゴミステーションに出しましょう  
ゴミステーションの管理は、ゴミステーションを使用する地区の住民が行っています。地区外の人が分別されていないごみを捨てると管理を

行っている地区の住民が分別をしなればならないため、非常に困ってしまいます。また、個人の敷地や道路沿いなどに捨てることは、不法投棄となり罰則の対象となります。  
■分別をきちんとしましょう  
ごみの分別については「ごみの分け方・出し方」の冊子(町関係施設に置いてあります)をご覧ください。「ごみの分け方・出し方」は町ホームページにも掲載しています。  
※不燃・埋立ごみの袋には必ず名前を記入してください。



## 引っ越しシーズンの到来 マナーを守ってごみ出し

環境生活課 ごみ減量推進係 ☎(232)2114

## 男女共同参画啓発イベント

### よかつれフェスタ2020

「よかつれフェスタ2020」が1月25日、菊陽町図書館ホールで開催されました。オープニングは、働く婦人の家の講座生によるフラダンス。フォトコンテストの表彰式の後、フリーアナウンサーの村上美香さんによる講演「もっと分かり合うために出来る事」が行われました。村上さんは、生放送のキャスター時代の経験談も交え、男性と女性の脳の中の機能の違いを面白おかしく説明し、お互いの違いを理解した上でコミュニケーションを図るコツを話しました。



笑顔で講演を行う村上さん

## 選挙制度の発展に尽力

### 総務大臣感謝状受領

選挙制度130周年記念選挙関係功労者の表彰式が1月21日、県庁で行われました。前町選挙管理委員の古庄久則さん(武7町内)に総務大臣感謝状が贈られました。

古庄さんは「当時の委員長をはじめ、一緒に取り組んだ委員みんなにいただいたものです。菊陽町では、若い人の投票率が低い状況にあるため、3月22日にある県知事選挙でぜひ投票してほしいです」と話しました。



古庄久則さん(左)と後藤町長(右)



衣類乾燥機、洗濯機

冷蔵庫、冷凍庫

テレビ

エアコン

家庭で不要になった家電4品目とパソコンは、法律でリサイクルすることが義務付けられています。

## 家電4品目の処分方法

### 家電4品目

### 家電4品目の処分方法

■方法① 小売店に連絡する  
廃棄するためには、その製品を購入した小売店か、同じ種類の製品を購入予定の小売店に連絡してください。  
■方法② 町または業者に依頼するか、直接工場へ搬入する  
小売店には古い家電リサイクル法対象機器を引き取る義務があります。※収集・運搬するための料金とリサイクルするための料金が必要です。  
※収集・運搬するための料金(町回収の場合は、粗大ごみシール)とリサイクルするための料金(家電リサイクル券)が必要です。  
※町に回収を依頼する場合は、粗大ごみの収集日に回収(要予約)します。

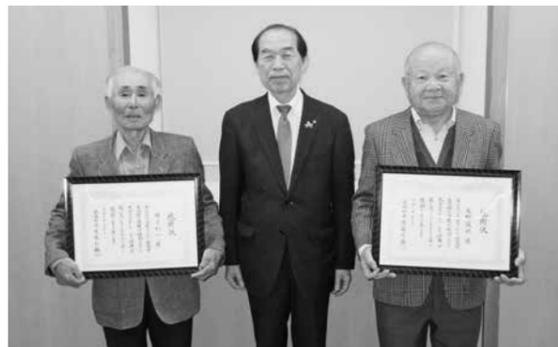


## 菊陽町から感謝状の贈呈

### 菊陽町指定文化財の保護や継承に尽力

2月7日に、矢野誠也さん(辛川)と緒方利一さん(馬場楠)に町長から感謝状が贈呈されました。

今回の感謝状は、団体の長として長年にわたり町指定文化財の保護や継承のために尽力された人に贈呈。矢野さんは、町文化財ボランティアガイドの会会長を10年務められ現在は名誉会長として活動。緒方さんは、鼻ぐり井手保存会会長を立ち上げ時から10年務めました。お二人は「鼻ぐり井手を始めとする町指定文化財の保護や継承を続けていきたい」と話しました。



感謝状を手にする矢野さん(右)と緒方さん(左)

## 文化の違いを学ぶ

### 町民会議主催 全体研修会

町青少年健全育成町民会議主催による全体研修会が2月1日、光の森町民センターで行われました。町民会議会員や区長、民生児童委員など約90人が参加。NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと代表の竹村朋子さんが「みんなの幸せ、多文化共生社会の実現を目指していざ行動へ」と題して講演を行いました。参加者は「国や地域で異なる文化や習慣があり、常識だと思っていたことがそうではないことを知った。お互いを知ることが大切」と話しました。



熱心に話を聴く参加者たち

## てっぽこのあか牛を全国へ

### 令和元年度熊本県農業コンクール大会

令和元年度(第60回)熊本県農業コンクール大会表彰式が1月30日、熊本テルサで開催されました。

本町からは菊池地域の予選を突破した那須啄弥さん(鉄砲小路)が新人王部門で本選に出場し、優良賞を受賞しました。

那須さんは肉用牛(繁殖牛)経営を営む畜産農家で、ICT技術を活用した分娩監視や飼育管理、自営加工直売所での販売などの取り組みが評価されました。今後ますますの活躍が期待されます。



新人王部門優良賞を受賞した那須啄弥さん

## 練習の成果を発揮

### 南部町民センター講座発表会

1月25日に第15回南部町民センター講座発表会が行われ、子ども習字や硬筆、パッチワーク、竹細工など数々の作品が展示されました。

ステージでは、講座生による歌の披露や、ひょっこり踊り、マジックショーなどがあり、会場は大いに盛り上がりを見せました。

発表の後はお楽しみ抽選会も催され、景品の当選番号が読み上げられると、会場は歓声や笑い声に包まれていました。

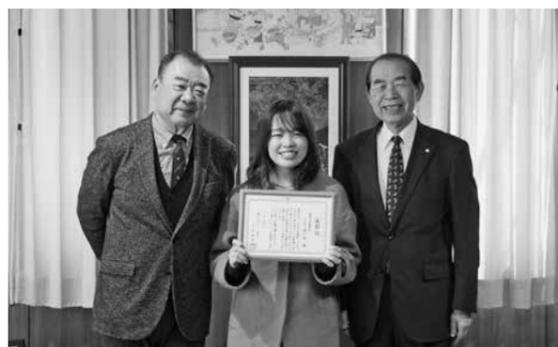


会場全体で盛り上がるひょっこり踊り

## 39年の活動を評価

### 学生ボランティア賞を受賞

東海大学の長野克也教授と同大学の「緑の会」副会長川村美由紀さんが2月19日、国際ソロプチミスト熊本の学生ボランティア賞の受賞報告のため役場を訪れました。「緑の会」は、生垣剪定を手伝うボランティア団体。39年間鉄砲小路の景観を守るために地域住民と生垣剪定を行ってきました。長野教授は「地域の皆さんの理解のおかげ。生垣は、仕切りや目隠しの他防災など多くの効果がある。今後も発展させていきたい」と笑顔を見せました。



左から長野教授と川村さん、後藤町長

## キラキラ笑顔の発表会

### 元気の森ラビット保育園発表会

ラビット保育園の発表会が2月8日、菊陽町図書館ホールで行われました。地域住民や多くの保護者が来場。園児たちは日頃の練習の成果を発揮し、オープニングに年長児が躍動感あふれる「よさこい」を披露。子ども達の笑顔いっぱいの劇や勢いのあるダンス、美しい「カントリー・ロード」の合奏などを次々に披露しました。来場した保護者は「子どもの成長、そして完成度の高さに驚き、とても感激、感動しました」と笑顔で話しました。



大きな掛け声を出して「よさこい」を踊りました

## おいしいにんじんできたよ～!

### 農業体験と町の特産品を学ぶ

武蔵ヶ丘小学校3年生の総合的な学習で、菊陽町農政課の出前講座(菊陽町の農業とにんじんについての講話)とにんじんの調理・試食が1月24日、同校で行われました。にんじんは、内藤静紀さん(花立)指導の下、地域学校協働活動の一環として、8月下旬に児童が校内の畑に種をまき、2日前に収穫したものです。

出前講座では、町のマスコットキャラクター「キャロッピー」がサプライズで登場。児童はキャロッピーと一緒にクイズにも挑戦しながら、菊陽町の農業とにんじんについて学びました。

その後「内藤さんありがとうの会」を開催し、収穫したにんじんを保護者と一緒にサラダや簡単メニューで調理して内藤さんに振る舞いました。試食タイムでは「あま～い!!おいしい!!」とあちらこちらで満面の笑み。会の最後にはにんじんをかたどった手作りのメダルを内藤さんにプレゼントしました。児童の1人は「大人になったら農家になりたいです。農業は大変だと思ったけど、育てる楽しさと、収穫の喜びが分かったからです」と笑顔で話しました。



1 出前講座にはキャロッピーも出席  
2 児童たちが収穫  
3 「内藤さんありがとうの会」でお礼のメダルをプレゼント